

旧国鉄中央線の愛知り、六六(昭和四十
 一年)の複線電化に伴
 治見市の廃線跡を、散
 策コースとしてよみが
 えらせようと活動して
 り、国内外で高い評価
 を得た高級食器で知ら
 れる西浦焼とみられる
 刻印もあるという。れ
 委員(事務局・春
 日井市)は二十一、二
 百九十万個とされ、
 十三日、廃線区間(約
 八キロ)の一部の三、六
 号トンネル群と廃線跡
 地を巡るイベントを計
 画している。

土岐川(庄内川)沿
 いの同区間には、れん
 が造りのトンネルが十
 三基現存。旧国鉄名古屋
 一多治見間が開通し
 た一九〇〇(明治三十
 三)年から利用が始ま



● 散策予定のトンネル群

廃線トンネル保存を

愛知—岐阜の中央線

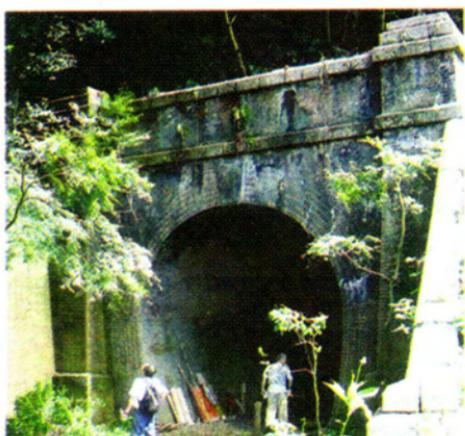
NPOが散策企画



化産業遺産群「続33」もある」と評価する。
 にも認定された。こつした背景から再生
 沿線には推定樹齢百 委は二年前から、トン
 年のモミジをはじめ自 ネル群や周辺の景観の
 然豊かで、再生委は 保存再生を目指してき
 「動植物と建設物が見 した。今年五月からは、
 事に調和した景勝地で 民間資金でトンネル群

を含む土地を買収、公
 的な保存をする「ナシ
 ヨナル・トラスト運
 を発行する。
 当日は三日間とも午
 八(87) 6533

買収するのは民間所有
 前十一午後三時。参加
 へ。



①旧国鉄中央線廃線跡のトンネル
 愛知県春日井市で(愛岐トンネル群
 保存再生委員会提供) ②寄付した
 人に発行される硬券を模した領収書



取材 後記

再生委多治見支部代表の堀部
 和経さん(53)に当時の写真を見
 せてもらおうと、D51がトンネル
 の内壁とすれすれでくぐり抜けて
 いた。「廃線跡には、この写真のままの
 トンネルが残っている。将来は散策路として
 整備できれば」と堀部さんは意気込む。
 ナショナル・トラスト運動は今年5月に
 始まり、半年で現在、目標額の10分の1
 強。現状のペースでは四つのトンネル買収
 まで5年、全体の整備完了はさらにその後
 になる。放置されて45年近い廃線跡再生に
 向け、さらに多くの協力が必要だ。

(志村彰太)